



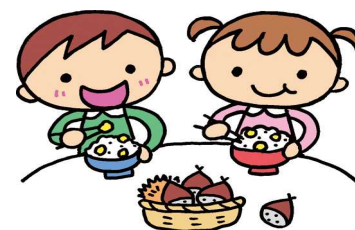
この夏は大変暑かったので休みの日に「長島ジャンボ海水プール」に行き今年から始まった超激流プールに挑戦してきました。大人気で私が行った日は45分待ちの長蛇の列さぞかし気持ちがいいんだろうとワクワクした気持ちでその時を待っていました。そしていざ私の順番がきました。浮き輪につかまり2時間程たっぷり楽しみました。しかし次の日、2時間ずっと浮き輪にしがみついていた為、脇のあたりが筋肉痛。日焼け止めクリームを塗っていたのにも関わらず顔は真っ赤に日焼けしました。もっとしっかり日焼け対策をするんだ…と鏡に写る日焼けした顔を見るたびに反省しています。(文責 山下)

●子どもが安心して元気に生活できるために保育教諭が子どもにすること

- * ゆったりとした生活のもとで夏の疲れを取り除き、規則正しい生活が徐々に出来るようにします。
- * 汗をかいた時には「汗、いっぱいかいたね。気持ち良くしようね。」と言葉を掛けながら着替えをしたり、こまめにふき取るようにしたりします。
- * 簡単な衣服は自分で着脱しようとする気持ちを大切に、出来ないところは保育教諭に手伝ってもらいながら、自分の力で出来るように関わり自信へと繋げていきます。
- * 排泄で失敗してしまった時には「気持ち悪かったね。」「今度はトイレでおしっこしようね。」と言葉を掛け、すぐに新しいパンツに履き替えられるようにします。
- * 遊びの中で簡単な決まりを知らせていきます。(使った玩具を元の場所に片付ける等)
- * 保育教諭や友達との関わりを持てるようなままごと遊びの設定をします。
- * 秋の虫や草花に触れて楽しみます。(コオロギ・トンボ・コスモス・柿・栗等)
- * 量を加減しながら最後まで自分で食べられるように励まし、全部食べられた事を認め、一緒に喜びます。

●子どもの遊びと教育的活動

- * 夏の疲れから体調を崩す子が多くなります。
- * 簡単な衣服の着脱を自分でしようとするようになりますが、まだ十分にできない子は保育教諭に援助を求めようとします。
- * 尿意や便意をしぐさや言葉で知らせ、トイレで排泄しようとしています。
- * 運動遊具を使ったり、模倣遊びをしたりして体を動かして遊びます。
- * 友達と関わりながら遊び、遊びの簡単なルールが分かり始めます。
- * 2～3人で簡単なごっこ遊びをすると共に、時には喧嘩がみられ、譲れない事があります。
- * 言葉が2語文から3語文になり、自分の経験したことを友達や保育教諭に話そうとします。
- * 身近な素材を使って描いたり作ったりします。
- * パズル・紐通し・ペグ刺し等指先を使った遊びを楽しみ、黙々と遊ぶ姿が見られます。



<お願いします>

- *夏の疲れが出やすい時期です。睡眠・栄養を十分に取るようにして下さい。
- *衣服・靴・ハンカチ・コップ・タオル等名前をはっきり書くようにしてください。また消えかけているものは書き直して下さい。これは、子ども自身、自分のものは自分で管理していくために大切です。
- *爪が伸びている子がいます。遊ぶ時に大変危険ですので、週に1度は点検し、切るようにして下さい。
- *9:00までに登園して下さい。給食等の準備がありますのでご協力お願い致します。また、欠席や遅刻される場合は必ず9:00までに連絡して頂けるようお願い致します。
- *読書や芸術に適した季節になります。絵本を読み聞かせてあげることは、子ども達の想像力を豊かにすると共に、親子ふれあいの大切な時間となります。是非、絵本の読み聞かせをしてあげていただきたいと思います。
- *運動遊びが始まりますので、足のサイズに合った靴を履かせてください。また、スカートやガウチョパンツは怪我のもとになりますので、動きやすい服装で来てください。



「食べられるようになったよ」

子ども達は毎日の給食が楽しみです。自分でおしぼりを出し、目の前に給食が並ぶと「いただきます」と挨拶をし「これなあに？」とメニューを聞いたり「おいしいね」と言ったりして友達と笑い合っています。

Aくんは野菜が苦手が残すことが多く、混ぜご飯や丼物はわずかに口の中に入った野菜もすぐに気づいて食べられないことがほとんどでした。少しでも食べられるようにと思い丼物の具は直接ご飯にかけず別皿にのせて食べていました。けれど少しずつ周りの様子も気になり始めたAくんは他の子が丼物の具をご飯の上のせている所を見ていました。すると「Aも！Aも！」と指を指したので「かけてもいいの？」と聞きながら乗せるとパクッ！と1口食べることが出来ました。おいしかったのかその日の丼物メニューは完食。「すごいね。全部食べられたね」と言うのにっこり笑って満足そうな表情のAくん。見ただ目で手をつけられない時も小さく切り「これだけ食べたらおしまいにしようね」と声をかけることで、まず一口から頑張ってみようとする子もいます。

園では「これくらい食べられるかな？」と1人1人量を相談しながらお皿につけています。家庭では食べられない物でもお友達と一緒に「頑張ってみよう」と食べてみる子もいます。これからも楽しい給食の時間を一緒に過ごしたいと思っています。



夏まつりの様子



スマイル音頭〜♪



ボーリング♪

金魚すくい♪

